



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月2日

上場会社名 シスメックス株式会社
コード番号 6869 URL <http://www.sysmex.co.jp>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 家次 恒
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 釜尾 幸俊

TEL 078-265-0500

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	31,676	3.0	4,082	33.8	3,651	22.6	2,307	39.1
24年3月期第1四半期	30,758	10.3	3,051	△9.6	2,977	△0.9	1,658	△6.3

(注)包括利益 25年3月期第1四半期 △493百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 1,284百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	22.44	22.38
24年3月期第1四半期	16.15	16.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	132,691	100,185	75.0	967.86
24年3月期	142,285	102,502	71.6	990.51

(参考)自己資本 25年3月期第1四半期 99,559百万円 24年3月期 101,833百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	19.00	34.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	70,000	7.3	9,800	3.8	9,800	10.5	6,200	5.8	60.28
通期	148,000	9.8	21,000	9.3	21,000	9.8	13,000	8.3	126.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	103,084,016 株	24年3月期	103,027,016 株
25年3月期1Q	217,806 株	24年3月期	217,764 株
25年3月期1Q	102,845,748 株	24年3月期1Q	102,717,053 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成24年5月9日に公表致しました連結業績予想は、発行済株式数及び自己株式数の変動に伴い1株当たり当期純利益につき変更しており、その他の業績予想数値は変更していません。
2. 本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
3. 決算補足資料(和英)は平成24年8月2日(木)に、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表等	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要を中心に生産活動や雇用・所得環境が緩やかに回復しつつあります。一方、海外においては、長期化する欧州債務問題、それに伴う不安定な為替動向、堅調な成長を維持してきた中国での景気の緩やかな減速など、今後の経済動向は楽観できない状況にあります。

医療面におきましては、国内では、将来を見据えた医療と介護に関する構造改革を基本方針とする平成24年度診療報酬改訂が実施されました。欧米先進国では医療費抑制と制度改革に取り組んでおり、スペインでは緊縮財政措置として医療費の削減を実施しています。米国では、医療保険改革法が連邦最高裁によって合憲とされ、無保険者の解消に向け前進しました。また、中国では、都市・農村での医療サービスの格差解消を目指し、医療保険制度を含む医療制度改革が推進されています。一部に不安定要素は存在するものの、基本的に医療関連需要は底堅く推移しております。

<参考>地域別売上高

	前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		前年同四半期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
国内	7,828	25.5	7,614	24.0	97.3
米州	6,434	20.9	6,616	20.9	102.8
欧州	9,648	31.4	9,039	28.6	93.7
中国	4,989	16.2	6,537	20.6	131.0
アジア・パシフィック	1,858	6.0	1,867	5.9	100.5
海外計	22,930	74.5	24,061	76.0	104.9
合計	30,758	100.0	31,676	100.0	103.0

当社グループにおきましては、海外市場でのロシュ・ダイアグノスティックス社による当社製血液分析装置および関連製品の販売・サービスに関する契約更新を受けて、互恵関係の充実に取り組んでいます。また、新興国の拡大する需要に対応する為に、多項目自動血球計数装置のコンパクトモデル「XPシリーズ」を発売いたしました。この製品は全地域を対象市場としており、各国の許認可取得後に順次販売を開始いたします。

国内販売につきましては、医療制度改革に伴う経営改善により大規模医療機関の設備投資は底堅く推移しており、ソリューション提案を引き続き推進した結果、大型案件の受注は堅調に推移したものの、国内売上高は7,614百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

海外販売につきましては、販売・サービス体制の強化、ソリューション提案を進めてまいりました結果、検体検査機器及び検体検査試薬の売上が伸長し、各国現地通貨ベースでは概ね順調に推移しました。その結果、対ユーロでの大幅な円高の影響を補い、当社グループの海外売上高は24,061百万円（前年同期比4.9%増）、構成比76.0%（前年同期比1.5ポイント増）となりました。

この結果、当第1四半期の連結業績は、売上高は31,676百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は4,082百万円（前年同期比33.8%増）、経常利益は3,651百万円（前年同期比22.6%増）、四半期純利益は2,307百万円（前年同期比39.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

ソリューション提案を引き続き推進したことにより、主力の血球計数検査分野を中心に大型案件の受注は堅調に推移したものの、売上高は8,195百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

利益面につきましては、グループ間取引価格の見直しはあったものの、減収や対ユーロでの円高の影響等により、営業利益は771百万円（前年同期比26.5%減）となりました。

② 米州

米国では、医療保険改革法の行方に対する不透明感からの買い控えが一部影響し、血球計数検査分野の機器売上は減少したものの、設置台数増加に伴い試薬やサービス売上が伸長し、増収となりました。中南米においては入札案件が減少したこと等により減収となったものの、米州全体での売上高は6,439百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

利益面につきましては、グループ間取引価格の見直しによる原価増と販売・サービス活動の強化に伴う販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は364百万円（前年同期比20.7%減）となりました。

③ 欧州

直接販売・サービス活動の充実に加え、ソリューション提案によって血球計数検査分野を中心に現地通貨ベースでは売上が好調に推移しましたが、大幅な円高の影響により、売上高は8,960百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

利益面につきましては、大幅な円高の影響により、営業利益は1,289百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

④ 中国

血球計数検査分野、血液凝固検査分野、尿検査分野において検体検査機器及び検体検査試薬の売上が大幅に伸長し、売上高は6,536百万円（前年同期比31.0%増）となりました。

利益面につきましては、グループ間取引価格の見直しによる原価増等を増収効果により補い、営業利益は1,073百万円（前年同期比12.9%増）となりました。

⑤ アジア・パシフィック

インドでは代理店契約更新の遅延による影響により減収となったものの、オセアニアでの大型案件の獲得やインドネシアでの伸長により、売上高は1,544百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

利益面につきましては、販売・サービス体制整備による販売費及び一般管理費の増加はあったものの、原価率の高いインド向け売上の減少等により、営業利益は41百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べて9,593百万円減少し、132,691百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が1,966百万円減少、受取手形及び売掛金が4,748百万円減少したこと等によるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末と比べて7,276百万円減少し、32,505百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が1,785百万円減少、未払法人税等が1,925百万円減少、賞与引当金が1,942百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて2,317百万円減少し、100,185百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定が2,723百万円減少したこと等によるものであります。また、自己資本比率は前連結会計年度末の71.6%から3.4ポイント増加して75.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末より1,955百万円減少し、19,882百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果得られた資金は、3,493百万円（前年同期比2,040百万円増）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益が3,445百万円（前年同期比479百万円増）、売上債権の減少額が3,461百万円（前年同期比1,096百万円増）となったものの、法人税等の支払額が2,655百万円（前年同期比209百万円減）となったこと等によるものであります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は、2,965百万円（前年同期比1,087百万円減）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出が2,889百万円（前年同期比1,258百万円増）となったこと及び前期に事業譲受による支出が1,900百万円あったこと等によるものであります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果使用した資金は、1,924百万円（前年同期比694百万円増）となりました。この主な要因は、配当金の支払額が1,953百万円（前年同期比310百万円増）となったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期は、円高による為替の影響はありましたが、売上高、利益ともに前年同期を上回りました。また、海外での販売活動は堅調であり、現地通貨ベースの売上高は概ね計画通りとなっております。第2四半期以降については、為替動向や欧州での政府債務問題による経済活動の鈍化の影響等、一部に不安定な要素はありますが、当初の計画通り推移するものと見込まれることから、平成24年5月9日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,362	19,396
受取手形及び売掛金	36,218	31,470
有価証券	745	591
商品及び製品	16,534	15,699
仕掛品	1,401	1,624
原材料及び貯蔵品	3,907	3,866
その他	10,341	9,616
貸倒引当金	△350	△369
流動資産合計	90,160	81,894
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,736	16,538
その他（純額）	23,103	22,639
有形固定資産合計	39,839	39,178
無形固定資産		
のれん	2,194	1,974
その他	4,709	4,425
無形固定資産合計	6,903	6,400
投資その他の資産	5,381	5,217
固定資産合計	52,124	50,796
資産合計	142,285	132,691
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,176	10,390
短期借入金	5	5
未払法人税等	2,776	851
賞与引当金	3,622	1,680
役員賞与引当金	248	62
製品保証引当金	157	114
その他	15,741	14,226
流動負債合計	34,728	27,331
固定負債		
長期借入金	4	2
退職給付引当金	1,263	1,360
役員退職慰労引当金	160	160
その他	3,624	3,651
固定負債合計	5,053	5,174
負債合計	39,782	32,505

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,187	9,267
資本剰余金	14,127	14,207
利益剰余金	83,484	83,838
自己株式	△255	△255
株主資本合計	106,543	107,058
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	426	360
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△5,136	△7,859
その他の包括利益累計額合計	△4,709	△7,498
新株予約権	546	515
少数株主持分	122	110
純資産合計	102,502	100,185
負債純資産合計	142,285	132,691

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	30,758	31,676
売上原価	11,692	11,636
売上総利益	19,066	20,039
販売費及び一般管理費	16,014	15,957
営業利益	3,051	4,082
営業外収益		
受取利息	32	38
受取配当金	21	20
投資不動産収入	95	—
その他	73	23
営業外収益合計	223	83
営業外費用		
支払利息	21	19
持分法による投資損失	15	15
投資不動産維持費	34	—
為替差損	219	465
その他	6	14
営業外費用合計	296	514
経常利益	2,977	3,651
特別利益		
固定資産売却益	10	7
新株予約権戻入益	—	3
特別利益合計	10	11
特別損失		
固定資産除売却損	17	210
その他	4	6
特別損失合計	22	217
税金等調整前四半期純利益	2,965	3,445
法人税、住民税及び事業税	1,176	951
法人税等調整額	129	186
法人税等合計	1,306	1,138
少数株主損益調整前四半期純利益	1,659	2,307
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
四半期純利益	1,658	2,307

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,659	2,307
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	△65
繰延ヘッジ損益	11	0
為替換算調整勘定	△408	△2,735
その他の包括利益合計	△374	△2,800
四半期包括利益	1,284	△493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,276	△481
少数株主に係る四半期包括利益	7	△12

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,965	3,445
減価償却費	1,827	1,890
売上債権の増減額(△は増加)	2,364	3,461
たな卸資産の増減額(△は増加)	△984	△363
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,162	△1,637
その他	△726	△677
小計	4,283	6,117
利息及び配当金の受取額	48	48
利息の支払額	△14	△16
法人税等の支払額	△2,865	△2,655
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,453	3,493
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,630	△2,889
無形固定資産の取得による支出	△410	△251
事業譲受による支出	△1,900	—
その他	△111	175
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,053	△2,965
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	575	—
長期借入金の返済による支出	△1	△1
配当金の支払額	△1,643	△1,953
その他	△160	29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,229	△1,924
現金及び現金同等物に係る換算差額	△166	△559
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,995	△1,955
現金及び現金同等物の期首残高	18,915	21,838
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,920	19,882

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	中国	アジア・パ シフィック	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	8,470	6,212	9,604	4,989	1,482	30,758	—	30,758
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9,005	0	120	0	37	9,165	△9,165	—
計	17,475	6,213	9,725	4,990	1,519	39,924	△9,165	30,758
セグメント利益	1,050	459	1,334	951	40	3,835	△784	3,051

(注) 1. セグメント利益の調整額△784百万円には、セグメント間取引消去16百万円、棚卸資産の調整額△710百万円、固定資産の調整額△90百万円などが含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「日本」セグメントにおいて、平成23年4月1日付けで片倉工業株式会社の生物科学研究所とカイコを用いて診断薬の原料となるタンパク質を生産する事業を譲り受けました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては1,405百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	中国	アジア・パ シフィック	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	8,195	6,439	8,960	6,536	1,544	31,676	—	31,676
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,520	0	86	1	32	8,642	△8,642	—
計	16,715	6,440	9,046	6,537	1,577	40,318	△8,642	31,676
セグメント利益	771	364	1,289	1,073	41	3,540	542	4,082

(注) 1. セグメント利益の調整額542百万円には、セグメント間取引消去150百万円、棚卸資産の調整額372百万円、固定資産の調整額18百万円などが含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。